

「甲斐源氏の戦い - 南アルプス市の鎌倉時代 - 」

対応する、学習指導要領小学校社会科の目標と内容

目標(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

内容(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

(ア) 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解すること。その際、神話・伝承を手掛かりに、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。

(イ) 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解すること。

(ウ) 貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解すること。

(エ) 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解すること。

単元名・小単元名	県史及び他の参考資料
1 大昔の暮らしをのぞこう (6)巨大古墳のひろがり (参考)	資料1 P685 おつきあな古墳 P686 鋳物師屋古墳 P687 六科丘古墳 P689 物見塚古墳 P691 上村古墳 P782 新居道下遺跡 P786 曾根遺跡 P788 村前東A遺跡 P792 村内遺跡 資料2 P4 P5 (口絵)鋳物師屋遺跡出土土器 通史1 P500 巨麻郡と渡来人 P542 郡郷の成立 遺跡で散歩2 市之瀬台地を歩く(南アルプス市教育委員会)
2 武士の世の中をさぐる (14)武士の政治が始まる	通史1 P878 甲斐源氏の胎動(甲斐源氏の系譜) 文化財 P487 木造不動明王座像(遠光の寄進) 資料6 P760 平治物語(甲斐源氏の参戦) P760 平家物語(甲斐源氏の参戦) 遺跡で散歩3 甲斐源氏ゆかりの史跡を歩く(南アルプス市教育委員会) 甲西町誌 P206 秋山光朝と奈胡義行 甲西町誌 P214 秋山旧事記

県史以外の地域(南アルプス市)の資料からも必要に応じ、参考文献とした。

展開例 武士の世の中をさぐる (14) 武士の政治が始まる

適用時間60分

- 目 標
- ・関東武士を味方につけた源氏が平氏を滅ぼし守護や地頭を置いて鎌倉幕府を開いたことを知る。
 - ・鎌倉幕府が開かれたころの南アルプス市の様子を調べ考える。

過程	学習の流れ	提示資料	児童の活動
導入 (15分)	源氏は、どのようにして平氏を滅ぼしたか調べる。		
	(「源氏はどのようにして平氏を滅ぼしたのだろう。」)	・教科書、資料集資料 ・図書館教材他 ・参考ホームページ等	・様々な資料等を調べたり、発表しあったりしながら一連の戦いの概略をつかむ。 【活動例】 ・一斉型(発問 発表) ・調べ学習型 (*この展開例では、一斉型として進める。)
展開 (35分)	山梨にも「源氏」いわゆる「甲斐源氏」がいて、戦いに参加し、平氏を倒す数々の功績を挙げていたことを知る。		
	「山梨にも源氏がいたことを知っていますか？」	通史編 1 P878 「甲斐源氏の胎動」 文化財編 P487 「木造不動明王座像」	・教師が通史を読み、南アルプス市の甲斐源氏に関する地名や館跡などを知る。
	「どの様に戦いに参加したのでしょうか？」	資料編 6 県外記録 P760 『平治物語』 (甲斐源氏の参戦)	・小笠原流の始まりなど遠光の子孫らの活躍を知る。 ・富士川の合戦に甲斐源氏の武士たちが参
	鎌倉幕府の政治の仕組みについて調べる。		
「将軍と御家人の関係を調べてみよう」 (8分)	・「鉢の木」の逸話 ・山梨県地図	・資料や地図などを活用しながら「ご恩」と「奉公」の意味をつかみ、幕府(将軍)と御家人の関係を理解する。 ・領地を賜り、「いざ鎌倉」には駆けつける御家人について調べる。	
「幕府はどのような政治を進めたのだろう。」	・教科書、資料集	・山梨県地図から鎌倉に至る道を探し、実際の鎌倉街道の道筋を調べる。 ・幕府の組織、守護・地頭の役割、朝廷との関係等を、資料や教科書を読み取る中で理解する。	

発展 (10分)	・甲西町誌 P206 「秋山古事記の要約文」 ・同 P214 「秋山旧事記」 (通史編2中世)	・教師が読むのを聞き、秋山氏について概観する。 ・秋山光朝氏の最後について話を聞く。 (秋山光朝氏が、頼朝に滅ぼされる)。 (・その他の甲斐源氏の様子を知る。)
	幕府(将軍)が成立する過程で甲斐源氏は取り込まれたり、滅ぼされたりしたことを知る。	
	「戦いの後、甲斐源氏はどの様になっていったのだろう。」	

資料編 6 県外記録

P760 『平治物語』部分

